



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年2月7日

上場会社名 株式会社 リード
コード番号 6982 URL <http://www.lead.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 岩崎 元治

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 田口 英美

TEL 048-588-1121

四半期報告書提出予定日 2024年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	3,860	1.7	58	52.6	111	35.5	93	39.2
2023年3月期第3四半期	3,796	28.0	124		173		154	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	36.39	
2023年3月期第3四半期	60.02	

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	%	%
2024年3月期第3四半期	8,483		2,758		32.5	
2023年3月期	8,177		2,599		31.8	

(参考)自己資本 2024年3月期第3四半期 2,758百万円 2023年3月期 2,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				15.00	15.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,000	0.4	100	29.0	120	41.6	100	45.9	38.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	2,632,960 株	2023年3月期	2,632,960 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	48,870 株	2023年3月期	60,370 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	2,579,281 株	2023年3月期3Q	2,572,590 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、一部に足踏みが見られるものの、雇用情勢や所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、個人消費が持ち直し、景気は緩やかな回復が続くとみられています。しかし、半導体をはじめとした部品・原材料の供給不足は緩和傾向にある一方、ロシアのウクライナ侵攻の影響によるモノやカネの流れの停滞や、為替の円安基調の継続によるエネルギーや原材料価格の高止まり等、依然として先行き不透明な状況にあります。

当社の売上高に大きな影響を与える株式会社SUBARUの世界生産台数は、前年同月比10月が4.0%増、同11月が12.2%増、同12月が5.4%増と増産が続いております。

このような経済環境の中で当第3四半期累計期間の売上高は、自動車用部品部門において、半導体供給不足の影響が緩和され、受注が増加したことや、駐輪部門の売上が増加したことから、3,860百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

損益面につきましては、自動車用部品部門において、新型車2車種の複数部品立上げに伴う材料費や人件費、諸経費、また、駐輪部門における電動キックボードの研究開発費等、先行投資的な支出もあり、営業利益は58百万円と黒字ながら、前年同期比では52.6%減となりました。

営業外収益は受取配当金28百万円、受取賃貸料29百万円、スクラップ売却益25百万円等により90百万円、営業外費用は支払利息29百万円等により38百万円を計上し、経常利益は111百万円(前年同期比35.5%減)となりました。また、特別利益は受取保険金1百万円、特別損失は固定資産除却損5百万円等により6百万円を計上しました。その結果、四半期純利益は93百万円(前年同期比39.2%減)となりました。

セグメント別の業績については、次のとおりであります。

①自動車用部品

当セグメントの売上高は、半導体供給不足の影響が緩和され、受注が増加したことから、3,598百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

損益面につきましては、受注は増加したものの、新型車2車種の複数部品立上げに伴う先行投資(材料費、人件費、諸経費等)もあり、セグメント利益(経常利益)は、112百万円(前年同期比31.2%減)となりました。

②自社製品

当セグメント全体の売上高は、262百万円(前年同期比3.5%減)となりました。内訳としては、電子機器部門においては、一部受注品の生産終了や、スポット案件の減少等を主因とし、売上高は83百万円(前年同期比35.0%減)となりました。駐輪部門においては、官公庁や駅等の大口案件が増加したこと等により、売上高は178百万円(前年同期比24.7%増)となりました。

損益面につきましては、セグメント損失(経常損失)は21百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)10百万円(内電子機器部門はセグメント損失(経常損失)10百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)3百万円)、駐輪部門は、売上が増加したものの、電動キックボードの研究開発費の先行投資があったことから、当第3四半期累計期間においてはセグメント損失(経常損失)11百万円(前年同期はセグメント損失(経常損失)7百万円))となりました。

③賃貸不動産

賃貸不動産のセグメント利益(経常利益)は、20百万円(前年同期比1.0%増)となりました。なお、収益及び費用は営業外に計上しています。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末比305百万円増加し8,483百万円となりました。

・資産

流動資産は、現金及び預金が180百万円、電子記録債権が148百万円、仕掛品が21百万円、その他のうち立替金が69百万円増加し、受取手形及び売掛金が106百万円、製品が14百万円、その他のうち未収入金が74百万円減少したこと等から238百万円増加し3,477百万円となりました。

固定資産は、機械及び装置が9百万円、建設仮勘定が26百万円増加し、建物が55百万円、工具、器具及び備品が12百万円、リース資産が50百万円減少したこと等から有形固定資産は85百万円減少し4,048百万円となり、また、投資有価証券が141百万円増加したこと等から投資その他の資産は153百万円増加し955百万円となりました。その結果、固定資産全体では66百万円増加し5,005百万円となりました。

・負債

流動負債は、短期借入金が84百万円、その他のうち預り金が109百万円及び設備関係支払手形が27百万円増加し、未払金が17百万円、未払法人税等が38百万円、賞与引当金が45百万円、その他のうちリース債務が17百万円及び未払消費税等が68百万円減少したこと等から43百万円増加し、2,798百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が77百万円、退職給付引当金が25百万円、その他のうち繰延税金負債が41百万円増加し、その他のうちリース債務が39百万円減少したこと等から102百万円増加し、2,925百万円となりました。その結果、負債全体では146百万円増加し、5,724百万円となりました。

・純資産

純資産は、配当金の支払が38百万円、第3四半期純利益が93百万円となり利益剰余金が55百万円増加し、また、その他有価証券評価差額金が94百万円増加したこと等から158百万円増加し、その結果、純資産額は2,758百万円となりました。これにより自己資本比率は32.5%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の通期業績予想並びに配当予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,578,062	1,758,386
受取手形及び売掛金	622,564	516,207
電子記録債権	406,335	554,981
製品	76,995	62,902
仕掛品	29,545	50,827
原材料及び貯蔵品	196,428	198,964
その他	329,283	335,753
貸倒引当金	△110	△80
流動資産合計	3,239,106	3,477,942
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,376,820	1,321,633
構築物(純額)	36,915	33,911
機械及び装置(純額)	454,201	463,703
車両運搬具(純額)	6,975	6,652
工具、器具及び備品(純額)	237,906	225,462
土地	1,657,869	1,657,869
リース資産(純額)	345,178	295,005
建設仮勘定	17,707	44,251
有形固定資産合計	4,133,574	4,048,489
無形固定資産		
ソフトウェア	917	627
リース資産	1,320	240
無形固定資産合計	2,237	867
投資その他の資産		
投資有価証券	731,332	873,303
その他	74,071	85,217
貸倒引当金	△2,710	△2,740
投資その他の資産合計	802,694	955,780
固定資産合計	4,938,506	5,005,137
資産合計	8,177,612	8,483,080

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,181	388,622
短期借入金	1,337,297	1,422,072
未払金	655,874	638,343
未払法人税等	38,438	—
賞与引当金	65,000	20,000
その他	274,346	329,797
流動負債合計	2,755,138	2,798,835
固定負債		
長期借入金	1,850,440	1,928,377
退職給付引当金	61,647	87,403
資産除去債務	50,765	50,656
その他	859,787	858,981
固定負債合計	2,822,639	2,925,419
負債合計	5,577,777	5,724,254
純資産の部		
株主資本		
資本金	658,240	658,240
資本剰余金	211,245	214,385
利益剰余金	543,165	598,429
自己株式	△31,746	△25,698
株主資本合計	1,380,903	1,445,356
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	245,347	339,885
土地再評価差額金	973,583	973,583
評価・換算差額等合計	1,218,931	1,313,469
純資産合計	2,599,834	2,758,826
負債純資産合計	8,177,612	8,483,080

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	3,796,381	3,860,921
売上原価	3,230,101	3,320,283
売上総利益	566,280	540,637
販売費及び一般管理費	441,880	481,663
営業利益	124,399	58,974
営業外収益		
受取利息	73	91
受取配当金	22,777	28,648
受取賃貸料	29,874	29,874
助成金収入	28,966	2,637
スクラップ売却益	6,387	25,405
その他	4,012	3,985
営業外収益合計	92,091	90,641
営業外費用		
支払利息	34,951	29,579
賃貸費用	8,450	8,423
営業外費用合計	43,402	38,002
経常利益	173,088	111,613
特別利益		
投資有価証券売却益	12,481	—
受取保険金	—	1,704
特別利益合計	12,481	1,704
特別損失		
固定資産売却損	—	424
固定資産除却損	808	5,905
特別損失合計	808	6,329
税引前四半期純利益	184,761	106,987
法人税、住民税及び事業税	30,372	13,134
法人税等調整額	△10	0
法人税等合計	30,361	13,133
四半期純利益	154,400	93,853

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。